

- 1 実施日時 令和5年10月18日(水)
- 2 実施学年 第1学年
- 3 実施教科 生活科
- 4 単元名 「いきものとなかよし」
- 5 学習の流れ

あきのむしを観察しよう

- 1 秋の校庭にはどんな虫がいるか、実際に外に出て探す。
- 2 秋の虫を観察する。
 - ・実際の虫を見て
 - ・「Web ずかん」を活用して
 - ・動画で虫の声を確認して
- 3 観察して気付いたことをカードにまとめる。



6 Chromebook の活用

- 「Web ずかん」をまなびポケットチャンネル上に配布し、観察の一助とする。
- 捕まえた虫の鳴き声について Web 上で検索し、聞いて確かめる。

7 児童・生徒の様子

実際に捕まえた虫を観察した後、「Web ずかん」で調べると、仲間にはどのような虫がいるのかや、校庭にはいなかった秋の虫についても理解を深めることができた。実際の虫は動いてしまうが、「Web ずかん」上の虫を拡大することで、細部まで観察を行う児童もいた。また、動画で虫の声を確認すると、虫によって鳴き声の高さや、鳴き方が違うことにも気づき、家の近くで鳴いている虫にも興味をもつ姿が見られた。

8 振り返り

小学校の学びの基盤を作るうえでは、具体物を使った操作を実際に行うことや、実物を見て観察することが非常に大切である。そのため、ICT は画面上の操作等の活動で使うより、児童が理解をより深めたり、広めたりするために活用することが効果的であると感じている。今回は、実際の虫を観察することに加え、同じ仲間の別の虫についても図鑑で調べたり、目の前にいる虫では確認できなかった鳴き声を動画で確認したりすることで、より児童が秋の虫について自らの経験と知識を結び付けて観察を行うことができた。また、Web 上の膨大な情報から、必要な情報を選択することはまだ難しい。そのため、教師が適切な資料を提示し、活用させていくことが必要である。今回は小学生向けの生き物図鑑である「Web ずかん」を活用することで、どの児童も情報を適切に取捨選択することができた。

